

農業委員会だより

令和7年
12月号

◆農業や農業委員会に関することは地域の農業委員または農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局へ気軽に「ご相談ください」。
問い合わせ 北上市農業委員会事務局(本庁舎3階) ☎72-8246、72-8247

「きたかみ農家紹介します」

高橋 健さん (57歳)
〈北鬼柳〉

今回ご紹介するきたかみ農家さんは、高橋健さんです。中学校教員をしていた高橋さんは、父親の体調不良を契機に56歳で退職し、家業の農業を継ぎました。

現在は、水稲3.6クタール(うち種子用3.3ヘクタール)と、隔離土耕栽培によるハウストマト2棟を経営しています。

就農1年目のトマト栽培では、水路の水を利用したところ病気が発生し収穫が皆無に終わりましたが、2年目は井戸を掘り地下水を使用したことで収穫を得られるようになりました。

高橋さんは「持続可能で収益性のある農業を目

指したい」と語り、今後はトマトハウスを1棟増設し、水稲も6〜7ヘクタールまで規模拡大を計画しています。将来は法人化を視野に入れ、地元の人々と協力して、農業を発展させたいと考えています。

趣味はロードバイク。きたかみ夏油高原ヒルクライムにも参加した経験があり、現在も時間を見つけて自転車に乗り続けています。何事にも真剣に取り組む姿勢が、農業にも活かされています。

私たち農業委員も若い人の新規就農はもちろん、定年後に農業へ挑戦する方も応援したいです。
(農業委員 藤原 豊)

参加者を募集しています 農業者等との意見交換 会を開催します

今後の市の農業施策へ役立てるため、みなさんの意見をお聞かせください。

■とき：令和8年1月29日(木)13時30分～16時

■ところ：ANAホリデイ・イン岩手北上(旧ホテルシティプラザ北上)

■内容：【研修会】テーマ「鳥獣被害とその対策について」、【班ごとの意見交換】テーマ「将来の担い手確保について」

■対象：市内農業者、農業や農業施策に関心のある人

■参加料：無料

■申し込み：令和8年1月15日(木)までに左記申込フォームまたは電話、ファクス(64-2171)、メール(noi@city.kitakami.iwate.jp)で農業委員会事務局へ



申し込みフォーム

未 来 の 農 業 者 特 集

食育・食農体験を開きました

5月31日と8月30日、食育食農体験活動で、小学生を対象としたりんごの摘果・収穫体験とおにぎり作り体験を実施し、市内の親子20名が参加しました。

5月はりんごの摘果作業を体験しました。口内のりんご農家さんの畑で、小さい果実を間引きしました。子ども達は、やり方を教わりつつ楽しそうに作業しました。

8月は収穫体験です。前回摘果した木に向かい、収穫しました。いっぱいになったカゴを前にどの子も笑顔でした。その後は口内地区交流センターに移動し、おにぎり作り体験です。口内産の銀河のしずくを炊いて、みんなでにぎりしました。子ども達からは、お米がおいしいと好評で、作ったおにぎりは完食。お母さん達から「家ではこんなに食べないのに」と驚きの声をいただきました。

子ども達がこの体験を通して食と農業に興味を持ってくれたらうれしいです。

(農業委員 金田 康子)



鬼っジョブに参加しました

小学生の職業体験イベント「鬼っジョブ」北上おしごとパークく2025が9月14日、北上市のさくらホール「saga」ツガワで開かれ、小学4～6年生約250人が参加しました。北上市農業委員会は産直体験を開き、23人の子も達が参加しました。農業委員から選別、袋詰め、接客を教わり、商品をテーブルに陳列して販売スタート。「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」とホールの中は元気に呼び込む声が響きました。お米、リンゴなどの商品やピーマンの詰め放題などのイベントも人気で、全て完売となりました。参加した子ども達からは「家でも野菜を作っていて、産直にも行った事がある。売るのは楽しかった。来年も来たい」などの感想を頂きました。職業体験を通して、農業への関心を持ってもらえればと思います。

(農業委員 小原 信正)